

TRANSFORM

BY TAMURA FUMIO

SYMPHONIC BAND OF HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION AT HAKODATE

CONDUCT BY WATANABE KEN-ICHI

EXECUTIVE PRODUCER WATANABE KEN-ICHI PRODUCER HATAKENAKA HIDEYUKI DIRECTOR MORI KAZUNORI ENGINEER KATO HITOSHI

TRANSFORM 田村文生 編曲作品集



- F.リスト バッハの主題による幻想曲とフーガ Franz Liszt Phantasy and Fugue ~ on the theme of BACH ~
J.S.バッハ 「バッハナール」プレリュード変ホ長調 BWV552 J.S.Bach Bachnale ~ Prelude Es major BWV552
R.シューマン 謝肉祭 R.Schumann Carnaval
C.ドビュッシー 海の微風 春の再来(弦楽四重奏曲第4楽章) Claude Debussy Brise marine, Renouveau

指揮 渡部謙一 演奏 北海道教育大学函館校吹奏楽団

録音 2005年3月6日 函館市芸術ホール / 2005年12月26日 七飯町文化センター・パイオニアホール

発売日 2006年4月10日 (予定) 定価 ¥1,500 (税込価格)

渡部謙一と北海道教育大学函館校吹奏楽団の演奏を初めて聴いたのは、2004年の全日本吹奏楽コンクールだった。北爪道夫(課題曲: 祈りの旅)と伊左治直(自由曲: 南蛮回路)という組み合わせは日本のアマチュア吹奏楽界にあっては異色かつ秀逸であり、また強烈だった。誤解を恐れず申し上げるなら、私は、この選曲だけでも金賞に値すると思った。しばらくして、作曲家の中橋愛生の紹介で、渡部から「ウインターコンサート2005」の司会依頼のメールが届いた。面識もないまま引き受けたのは、やはりその意欲的なプログラムに共感したから。そしてその年の定期演奏会の司会までつとめさせていただいた。渡部は、いわゆる「吹奏楽屋」ではない、自らが信頼する現代作曲家たちとの共同作業を実践している。もっとも、新作委嘱だけなら珍しい

ことではない。渡部がユニークなのは、そうした作曲家たちと組んでクラシックの名曲(ピアノ曲や弦楽四重奏曲さえも)を吹奏楽のレパートリーに「変化」させようとしていることだ。その視点は自信に溢れ、挑戦的ですからある。ここに聴く田村文生編曲作品はそうした成果の一つだ。管弦楽曲からの編曲は1曲もない。田村が行っているのは、いわばメディアの変換にともなう「創造的編曲」と言うべきものである。例えばリスト、BACHの音列を基にした奔放かつ極めてピアノスティックな原曲は、その主題変容自体がデフォルメされ巨大に変貌していく。幻想曲部分の後半では、原曲の和音進行を生かしつつ、大胆なテンポ変更と新しい旋律により室内楽風な音楽を創出したり、また曲の終盤では意図的に《展覧会の絵》のエンディングを下敷きにし、神々しいまでのフーガ主題のコラール

を出現させるなど、もはや離れ業と言える。リスト作品の多くに共通する「暗→明」の性格を強調し、吹奏楽らしい魅力を湛えた大作に仕立てた田村の手腕はさすがと言うべきであろう。このアルバムは、そのような田村のファンタジーと渡部の強固な意志が結実したものと評したい。お断りしておくが、これが吹奏楽の新生面であるとまで言うつもりはない。渡部の考えに対しては異論もあるだろう。だが、知性と想像力に満ちた創作への共感、どのバンドにも忘れてほしくない。渡部と函教大バンドの試みは、改めて私にその思いを強く抱かせてくれた。私は、ほんのわずかな機会でも彼らの現場に居合わせたことを幸運に思っている。

国塩哲紀(東京オペラシティ文化財団 プロデューサー)

先行予約お申込み・お問い合わせ

スタジオ・シンフォニカ(有) 〒063-0823 札幌市西区発寒3条1丁目5-21 TEL 011-667-8350 FAX 011-667-8351 E-Mail: aed73610@star.odn.ne.jp
郵便振替口座 スタジオ・シンフォニカ(有) 02740-4-41566 <http://www.sinfonica.co.jp>

This work comes from the encounter between Fumio Tamura, the Composer and Kenichi Watanabe, the Conductor and the Producer. No revision work is included in these works as imitation from orchestral music with wind and string instrument. The works are defined as "creative arrangement // transcription" because they have been transformed from the raw text which our great predecessors had left not for wind ensemble but for anything else such as piano. These works are performed by Symphonic Band of Hokkaido University of Education at Hakodate. They have been evolving various new attempts with Watanabe Kenichi. These works have achieved the dialogue between chronological past, which leads to explore the direction of following generational wind ensemble. We sincerely hope that everybody enjoy those works.

この作品集は、作曲家・田村文生と、指揮者でありプロデューサーでもある渡部謙一の出逢いから生まれた。

収録された作品群の中には、管弦楽曲からの単なる模倣としての編曲作品は一つもない。

それらは、偉大なる先人たちがピアノのためなどに残したテキストを、吹奏楽というメディアに変換した「創造的編曲」なのである。

演奏は渡部謙一のもと、さまざまな新しい試みを展開している北海道教育大学函館校吹奏楽団である。

この作品群で実践された時間を越えた過去との対話が、次世代の吹奏楽の方向性を探る上でのきっかけとして鑑賞され続けることを願ってやまない。